



【教育目標】 自ら学び、考え、行動する人 思いやりと責任感のある人 健康で心豊かな人

主体的な学び

生徒の意識調査で、主体的に学ぶという調査項目の「そう思う」という割合は17.5%でした。2学期は生徒の主体的な学びを意図的に増やしていこうと思います。具体的には、自分で考えたり協働的に探求したりする活動を授業の中に増やしていきます。



協働で高め合う幅跳びの様子です。

3年生の体育の授業では、走り幅跳びに取り組んでいます。タブレットを使って録画したり、グループで課題を見つけたり、課題を共有して練習方法を工夫したりしています。こうすることによって、走り幅跳びの技術だけでなく、どうしたら記録を伸ばせるか、練習はどう工夫したらいいかなどを考える力も身に付きます。

これから先の世の中は、次々と変化する予測不可能な課題を協力して乗り越えていく力が求められます。ただ単に知っている、できる、というだけでなく、主体的に考えていくことが必要となるのです。牛込二中の生徒がより主体的に学べるよう、授業もバージョンアップしていきます。

リスペクト

2001年9月11日、アメリカ合衆国ニューヨークのワールドトレードセンターがテロ攻撃に遭い、2,977人の方がなくなりました。旅客機が2機、相次いでビルに激突するショッキングな映像を観たことがある人は多いでしょう。

当時ぼくはニューヨーク近郊に暮らしていました。テロのあったマンハッタンからは離れていましたから、幸い無事ではありました。しかし、あの日から世界は変わりました。憎しみが憎しみを呼び、誰もが信じられない世界へと。

どこに入るにも持ち物検査やボディチェックが当たり前になりました。自分たちとちょっと見た目が違つと、疑いの目が向けられるようになりました。平和を訴える歌は流れなくなり、United we stand (団結すれば我らは立てる) という「結束」を強く意識するスローガンがあちこちに貼られるようになりました。

あの時代のニューヨークに暮らして、ぼくが深く考えるようになったのは、なぜ人は憎しみ合うのか、ということです。歴史を振り返れば、多くの過ちがあります。私たちはそこからたくさんのかんことを学ばばいいのです。過去の過ちをもちだして、現在を憎む必要はないのです。

これが、ぼくが牛込二中の合言葉として使っている「リスペクト」の原型となっている体験です。人も自分も同じように大切に。毎年この時期になると、気持ちを新たに、そう思います。

牛込二中ホームページです。
新しい情報やお知らせなど、こちらを通じて連絡いたします。



「新・校長日記」は、平日は毎日更新しております。日々のできごとや、校長の考えなどを書いています。

